

みんなで作ろう「市民憲章」!

市民みんなのものにするために…ご意見をお寄せください。

市民主体の「市民憲章をみんなで作る会」の素案ができました。新しい市にふさわしい憲章は、市民みんなのものであり、より身近で親しみがもて、誰もがいつでも口ずさめるものになりました。市民が夢や希望を持ち、一体となり、将来にわたって行動する「このころのみちしるべ」となるように願っています。

市民憲章をみんなで作る会素案

市民のねがい

古き歩みを誇りつつ

文化の薫るふるさとに

豊かな未来夢ひらく

なみおだやかに碧光り^{あお}

ななおのまちに人集う

おとなも子どもも手をつなぎ

しあわせの和を広げよう

【素案の基本的な考え方と表現方法】

- ・市民みんなのものであり、みんなのねがい
- ・わかりやすく、親しみを持つことができ、誰もが口ずさめるもの
- ・理念的または抽象的で、各自がイメージして考え、行動できるもの
- ・七行で七五調のリズム感のある文体
- ・前段は骨組み的・前文的で、後段はその具体的な姿をわかりやすく表現し、過去から現在、未来へと継続する七尾の理想像を織り込んだもの

【素案の解説】

表題について

市民憲章という表題にとらわれず、生活の中に溶け込めるものとするため、「市民のねがい」としました。

本文について

○前段（1～3行目）

七尾市は日本海に臨む天然の良港として古代から栄え、能登の政治・経済・文化の中心地として発展してきました。

湯の香が漂うふるさと七尾は万葉にもうたわれ、多くのまつりで賑わい、文化の薫り高いまちです。市民ひとりひとりが七尾に生きていることに誇りを持ち、夢や希望の実現に向けて行動し、市民の力で豊かな未来へとつなぎます。

○後段（4～7行）

波穏やかな海、豊かな自然は碧く光り、港を中心に発展してきた七尾は産業や観光をますます活性化させ、人が集い、歴史や文化もさらに輝いていきます。

お年寄りから子どもまで「おほほや」「や」「あ」の「う」